



PDA 香川県立高松高等学校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年7月8日(水) 13:00-15:30

会場：香川県立高松高等学校 (Zoom を用いてオンライン開催)

参加者：生徒12名、教員2名

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ

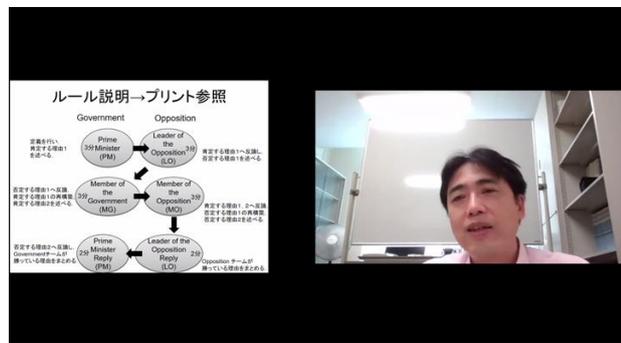
助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

はじめに、出射校長先生より、「このディベートには様々な魅力があります。中四国の交流大会や全国大会など他の高校の生徒と交流できるという点も魅力のひとつです。今日実際にディベートをすることで、ディベートの魅力を知っていただきたい。」とご挨拶いただきました。

次に、PDA ディベート推進委員長より、ルール説明、POI (point of information: ディベート中に質疑応答をリクエストするルール) の練習が行われました。



高松高校 出射校長先生



PDA によるルール説明



POI の練習

ルール説明が終わると、いよいよ第1ラウンドの始まりです。即興型英語ディベートをするのは今日が初めてだという生徒が大多数でしたが、堂々とスピーチを行いました。中には、早速 POI をし、質疑応答をする場面も見られました。ディベートが終わると、ジャッジによるフィードバックの時間です。勝敗だけでなく一人一人に良かった点と改善点に関するコメントが行われました。



聴衆を見て堂々とスピーチします



POI（質疑応答）を行なっています



ディベートが終わるとエア握手を交わしました



ディベートが終わると、「15分という準備時間を効果的に使うためにはどうしたらよいか」などジャッジへ質問する生徒もおり、次のラウンドへの意気込みを見せました。生徒たちは、「緊張したし、みんなの前で英語でスピーチをするのは恥ずかしかった。」「こう言いたい！ということは日本語では思いついているのに英語にできずもどかしい。」と第1ラウンドの感想を述べました。

第1ラウンドが終わると、第2ラウンドの開始です。理由を説明する、理由を複数説明してみる、重要性についても説明するなど第1ラウンドでジャッジから受けたフィードバックを早速活かし、ディベートを行いました。第2ラウンドでは第1ラウンドよりも活発にPOIが交わされ、お互いの意見をより深く理解しようと試みる様子が見られました。



ジェスチャーを効果的に使ってスピーチ



自信を持ってスピーチしています



画面の向こうにいるジャッジに向かってスピーチをしています

ディベートが終わり、ベストディベーターに選ばれた生徒は、「ベストディベーターに選ばれたことが嬉しい。また頑張りたい。」「すごく楽しかった。成長を感じる。またやりたい。」

高松高校の出射校長先生より「回数を積み重ねれば積むほど成長します。どれくらい日頃から社会問題について考えているのかということも重要です。ぜひ広く勉強し、交流大会や全国大会、世界交流大会を目指して頑張ってください。」と激励のメッセージをいただき、高松高校の体験会は幕を閉じました。



高松高校 出射校長先生

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・全国大会目指せるくらいに練習して上達したいと思います！頑張ります！
- ・改めてとても難しいと感じた。初めてに近かったので、全然できなかったが経験を積んで上手くできるようにしたい。
- ・ジャッジの方に本格的にスピーチを見てもらえて自分の課題がよく分かりました。よかったです。
- ・説明や英語力における自分の強化すべき点が明確になった。このディベートは何回も継続してやらなければ、劣等感に苛まれるだけで成長することができないと思う。週1回でも授業の最初に15分やれば良いと思う。
- ・英語を、使ってディベートするという新しい世界を知れた。自分の語彙の無さや、英語で、表現することの、難しさを知れた。もっと、練習と勉強をし続けたい。
- ・頭をフル回転させて考えるのは大変だけど相手の言っていることを理解できたり、自分の主張が相手にきちんと伝えられた時は嬉しく、達成感があった。始まる前は不安でやりたくないなという気持ちがあったけれどやってみるとディベートは奥が深くて意外と面白いかもしれないと思いました。1回目より2回目の方が上手くできたので慣れることが大事だと思いました。もっとディベートの力を伸ばしたいです。
- ・聞きとるのが特に難しかったです。たくさん練習を積んで上手くなりたいです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

■■■■ さん
■■■■ さん
■■■■ さん
■■■■ さん
■■■■ さん
■■■■ さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

■■■■ さん
■■■■ さん